

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公園緑地維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	04	07	01
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	本田 英師			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公園施設	意図	利用者が快適に過ごせる場所を提供する。
事業内容	公園緑地等の維持管理。身近に安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	公園緑地等で憩い安らげると感じている市民の割合	69.80	71.60	75.80	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケートにより
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		371,297,675	392,580,262	425,867,012				
事業費(b)(円)		348,643,175	370,430,662	404,113,412				
うち一般財源		346,692,163	368,509,176	401,665,626				
職員給与費(c)(円)		22,654,500	22,149,600	21,753,600				
人役・職員(人)		3.30	3.30	3.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	維持管理業務の一部を地元自治会へ委託を拡大するとともに市民ニーズの把握に努める。	③取組における課題(Check)	区画整理事業等が進行中であり、市民ニーズにあった管理運営が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	業者による管理区域の見直しを行い、よりきめ細かな管理を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	地元自治会へ委託を拡大するとともに、安全に配慮した管理運営に努める。